

# センターだより

第90号  
2024.01.01

## 年頭のご挨拶

代表理事組合長

松田 登貴也



新年明けましておめでとうございます。皆様方には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

令和5年度は、新型コロナウイルスが五類移行にともない、国民の行動制限が解除されて消費者の外出の動きが増えてきました。

日本経済につきましては、企業の賃上げ効果もあり景気の回復も進んでいます。しかしながら昨年より続く物価の高騰に伴い生活は厳しい状況になります。そのような中、花き植木業界は異常気象などの要因で、令和5年度前半はかなり厳しい販売となりました。その売上不振を残りの期間で取り返す必要がありました。そういう状況下で年末商戦は高い売上目標を掲げており職員を激励してまいりました。令和6年度の展望は、従来のセリ販売における先取り販売の比率を上げていきます。大阪の市場は80%が先取り販売です。私どももそういう方向に舵を取っていき、又、職員を指導してまいります。そうして、職員が時間に余裕ができて働き甲斐のある職場としていき、又、安定した収入を上げられる市場にしてまいります。

(令和5年10月16日より施行している当組合の機構改革について)※5ページ参照

第三営業課として、相対に特化した課を新たに設けた。又、切花課は、第一営業課に名称を改めて、鉢花課と植木課を併せて第二営業課としている。購買課は資材課に、販売事務係は販売事務課に名称を改めている。

最後になりましたが、組合員皆様方の変わりぬご指導ご協力をお願い申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 就任の挨拶

専務理事

吉川 隆憲

新年明けましておめでとうございます。

令和の元号を迎えて早六年になります。コロナ禍のトンネルを抜け出すことができ、インバウンドも戻ってきています。一時期コロナウイルスの影響があつて、自宅で手軽に楽しめるとの事で園芸に人気が集まりましたが、昨年から外出できなかつた気持ちを解き放つかのようになり一気に戸外に目を向けるようになり、業界はまた苦戦を強いられるようになりました。

私たち、奈良県内の植木、鉢花、切花の生産者組合は県内外の消費者に、上質で安価な植物をお届けできることを目指して日々努力しています。

世界情勢が不安定な今日、どんな時代が来ようとも、花と緑は平和の象徴であると思います。

ご家庭におられても、お客様をお迎えになられても、又、外出されても、奈良、日本は花と緑に包まれた地域、国であることを認識し大切にして、豊かで平和な町づくり、国づくりに貢献したいと思っております。

私は五十年以上この業界に携わって参りましたが、何の能力もないものでも組織外の違った目線でも、少しでも役立てることができるとも思えないという思いで、昨年五月二十三日、第五十二回通常総代会、及び理事会において専務理事を拝命致しました。

任期三年間、誠心誠意当組合活性化の為に努力してまいりますので、関係各位、皆様方のご助言とご支援を賜ります様、切にお願いを致しまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

## 鉢花市況

新年あけましておめでどうございませう。日頃より当組合をご利用頂き誠に有難うございます。

昨年は春から新型コロナウイルスが五類に移行し、行動制限が解除されました。又、天候異常で、高温が続いたかと思つくと、急に冬の気候に逆戻りしたことや、そして何より物価の高騰と、非常に厳しい状況が続きました。先ず春より振り返ってみます。昨年の「母の日」は遅く、5月14日でした。コロナ禍からの行動制限の緩和により連休中は一般消費者は旅行などに出かけられ、母の日商戦の販売店での販売の動きは鈍かったように思います。又、気温が30度を超える高温になったかと思いきや、週末になると雨天となり、5月というのに寒暖差が非常に激しく、市場、販売店、生産者とも苦戦を強いられた月であつたように思われます。注文取りをして販売をした商品に関しましては、順調に販売はできましたが、天候不良による売店での販売が鈍かつたこともあつて、セリ場は低調で、毎年母の日が過ぎてても売れるという事で、アジサイは安定した販売はできていましたが、万華鏡など人気商品以外は品種が増えすぎた事もあり、例年に比べて動きは悪い状況でした。

コロナ禍ではカーネーションを始め、その他の商品もいわゆる巣籠り需要で、思ったより安定した販売は出来ましたが、昨年に関しましては外出される方も多く、物価の高騰からか、まさに「花より団子」という言葉を痛感した年でした。その後も、災害級の夏の暑さの影響で、生産していくうえで品種を問わず、出荷期のずれ・商品の傷みなど、秋物及び冬物への影響も出ており、販売・生産ともに非常に厳しい年となりました。今年も、運送業界における2024年問題、今も続く原材料費の高騰、生産量の減少、及び生産自体を止めてしまう生産者もおられ、樂觀視する

事は出来ません。依然厳しい状況は続くように思われます。今後とも皆様のご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。第二営業課長 東川正彦

## 切花市況

天候の変動による影響

新年あけましておめでどうございませう。平素は当組合を御愛顧賜りありがとうございます。また昨年は大雨などで被害を受けられた産地の皆様には、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて昨年の入荷状況ですが、気候が例年と大きく異なり安定した入荷ができず、高値が続く日が多々ありました。加えて物価の高騰、特に肥料代や燃料費などがかなり高騰し生産しにくい状況が今も尚続いています。引き続き出荷を頂きたいために、精いっぱい販売させて頂きましたが、生産者・買参人の皆様の間に立つ者としては大いに考えさせられた一年となりました。

入荷量は輪菊が渥美を中心に安定した入荷ができました。しかし、九州で台風の影響を受けてしまい秋以降、物量が減ってしまいました。それにより、例年より高値で推移しました。

小菊は、沖縄産がやや遅れ、県内産も彼岸以降は作付けが少なくなることから、品薄状況が続く動きのない時期に高値での販売となりました。沖縄産の出荷が増えてからも色の偏りがあり、スムーズな産地の切り替わりとはいきませんでした。

カーネーションは暖地の愛知県が十一月から始まり、物量的にも問題なく出荷していただきました。ただ仏花用の短い等級がメインで、高温の日といきなりの気温の低下で生育不足が顕著に現れました。

スターチスは高冷地の長野県で上位等級の出荷が高温によりできなくなり、和歌山産が始まるまで欠品状況が続きました。和歌山産が出てきてからは、色・等級共に順調に入荷できました。

松は、生育状況が芳しくなく、上位等級が年々減りつつあります。昨年に関しては、カジュアルクラスも減少し、全体的に物量減となりました。

千両は、運送面の問題から関東から引つ張りにくい状況となりましたが、和歌山物が昨年ということもあり、物量は問題なく入荷できました。

年々、全体的な入荷量が減ってしまい、買参人の皆様にはご迷惑をおかけしていますが、担当一同、物量を確保し、ご満足していただける市場になるよう努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

第一営業課 北田 洵平

## 組合員のみなさまへ

組合員の登録内容に変更のある場合は、地区の役員にご相談ください。

# 植木情報 令和6年主要行事予定

## 植木情報

新年あけましておめでとうございます。平素は当組合をご愛顧いただきありがとうございます。

昨年と比べて買参人の引き合いはあったように思います。中高木につきましては、良品では動きは活発に引合いがあった状況でした。常緑ヤマボウシ株立、ソヨゴ株立、オリーブ他H<sup>1</sup>2・0<sup>1</sup>2・5の株立の引合いが目立っていました。

ここ数年、アオダモ株立が各市場高値で取引されていることもあって、前半のセリ状況についてはイロハモミジ株立、ヤマモミジ株立、ジューンベリリーなども高値で取引されました。

低木類についても、県内の出荷数量が減少気味になり、それに伴い植木市の出荷数量も減少しており、新型コロナウイルスが五類に移行している事から、買参人の引き合いは一年と比較すれば活発に取引されています。ここ数年のココスヤシ、アガベ、ソテツなどのロックガーデンの人気に伴い、少量ではあります注文、及びセリ販売が増えてきた状況でした。

相対販売では一昨年と同様に公共の植栽工事などの大きな物件が減少したままの状況で推移して、高木、中木や庭園樹などの需要も鈍い状況ではありました。しかし民間の植栽工事など徐々に増えてきている状況でありますが、良品でありながら全国的に品薄状態となつているにも関わらず低価格のままの樹木も多くなつている状況で、生産者・買参人の双方にとつて厳しい状況が続いています。

全体的に植栽工事が減る中で、葉刈の仕事が多くなり、客足も遠のくような流れになっています。さらに原油価格高騰などの影響で生産資材の価格高騰が顕著で、植木生産も例外ではなく、生産量や在庫などにも影響がありました。

また年々減少する生産者数については、当組合も県内を巡回させていただいて深刻だと実感しています。理由としては生産資材が高騰しているにもかかわらず、植木自体の単価が低迷していることや、後継者不足などが挙げられます。

それに伴い生産量も増えず全国的に品薄という商品が多くなつてきています。今後ともそういった状況が続くと考えられます。

昨今、異常気象による自然災害や環境劣化は身近なところのみならず、今や地球規模で頻発しております。これからの災害で環境劣化を防止し回復する手立てとして今こそ緑の効果と造園業の役割を発揮し駆使していく必要があるのではないのでしょうか。

今後とも皆様のご支援・協力の程宜しくお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

第二営業課 参与 森川 勝彦

## 令和6年主要行事予定

### 1. 行事

花き植木農協組合長表彰及び各種品評会表彰式  
第53回通常総代会 5月28日(火)  
第16回大和路花と緑のフェスティバル 10月上旬

### 2. 初市・止市

切花 1月 5日(金)・12月27日(金)  
鉢花 1月 8日(月)・12月26日(木)  
植木 1月16日(火)・12月17日(火)

### 3. 大市

春の植木大市 3月19日(火)  
中元贈答用鉢花大市 6月27日(木)  
秋の植木大市 10月15日(火)  
秋の鉢花大市 10月17日(木)  
歳暮贈答用鉢花大市 11月28日(木)  
正月用切花材料大市 (若松等)予定 12月 3日(火)  
(オモト)予定 12月 3日(火)  
(千両)予定 12月17日(火)

### 4. 品評会

令和5年度鉢花第3回大口品評会 3月20日(水)  
令和6年度鉢花第1回大口品評会 5月15日(水)  
令和6年度鉢花第2回大口品評会 11月20日(水)  
令和6年度植木品評会 10月 2日(水)  
～10月15日(火)  
令和4年度花き植木立毛品評会(鉢花) 9月 1日(日)  
～10月31日(木)  
春日大社・奈良県切花品評会 予定 9月24日(火)

### 5. 仕事はじめ・おさめ

令和6年1月8日(月)・12月28日(土)



# 品評会の報告

## 品評会の報告

令和5年度奈良県花き植木品評会  
総出品点数

植木 15点  
花き植木立毛 (切花) 11点  
切花 90点  
鉢花 (第一回) 27点  
鉢花 (第二回) 29点

(※以下敬称略)

【植木品評会】  
(令和5年10月4日  
～10月17日)

- ・農林水産省生産局長賞  
大和郡山市 今西康彰 オタフク南天
- ・奈良県知事賞  
五條市 森田浩司 台杉
- ・日本植木協会会長賞  
大和郡山市 三橋小夜子 マホニアコンフーサ
- ・近畿花き振興協議会長賞  
五條市 西本卓央 ツバキ
- ・奈良県造園業協同組合理事長賞  
大和郡山市 三橋正和 フイリフェラオーレア
- ・奈良県花き植木農協組合長賞  
大和郡山市 佐野展之 マホニアコンフーサ
- ・金賞  
森田浩司
- ・銀賞  
三橋正和
- ・銅賞  
佐野展之 三橋正和

【花き植木立毛品評会 (切花)】  
(令和5年10月5日)

- ・農林水産大臣賞  
平群町 亀井智史 小菊
- ・近畿農政局長賞  
平群町 中尾諭史 小菊
- ・奈良県知事賞  
平群町 西野日出男 小菊
- ・奈良県議会議長賞  
平群町 石田真規 小菊

- ・日本花き生産協会会長賞  
葛城市 高松智郎 小菊
- ・近畿花き振興協議会長賞  
葛城市 田仲清悟 小菊
- ・奈良県花き植木農協組合長賞  
平群町 城守 小菊
- ・金賞  
田中伸吉
- ・銀賞  
向井龍太郎
- ・銅賞  
松村容嘉

【春日大社・奈良県切花品評会】  
(令和5年9月26日)

- ・農林水産省農産局長賞  
平群町 米田竜祐 小菊
- ・奈良県知事賞  
宇陀市 岡本信代 ダリア
- ・奈良県議会議長賞  
平群町 岡田雄太 小菊
- ・春日大社宮司賞  
平群町 向井龍太郎 小菊
- ・華道春日流総裁賞  
平群町 小谷容久 小菊
- ・春日大社萬葉植物園園長賞  
宇陀市 新開誠一 ダリア
- ・日本花き生産協会会長賞  
葛城市 森井隆司 小菊
- ・日本ばら切花協会会長賞  
下市町 梅本悦子 バラ
- ・奈良県花き植木農協同組合長賞  
平群町 城守 小菊
- ・奈良県切花協議会長賞  
平群町 姓本弘子 入才ラン
- ・金賞  
向井琥太郎 小谷孝子 向井歩志 岡本 清
- ・銀賞  
表 千波 向井龍太郎 宮田典子 城 実希代  
表 雅記

- ・銅賞  
森本訓有 姓本弥月 岡本 清 飯坂好子  
亀井智史 田仲淳代 小谷容久 向井正治  
亀井稜太 城守

【第一回鉢花大口品評会】  
(令和5年5月17日)

- ・金賞  
榎原市 吉田宗義 ベゴニア
- ・銀賞  
榎原市 吉田宗義 ジニアプロフュージョン
- ・銅賞  
葛城市 岡本康宏 日々草
- ・榎原市 安田忠司 マリーゴールド
- ・榎原市 西田順洋 トレニア
- ・榎原市 西田順洋 ペチュニア

【第二回鉢花大口品評会】  
(令和5年11月15日)

- ・金賞  
桜井市 堀内国洋 パンジー
- ・銀賞  
明日香村 平井一広 ガーデンシクラメン
- ・銅賞  
桜井市 堀内国洋 パンジー
- ・奈良市 森川幸則 キンギョソウ
- ・五條市 栗本龍哉 アイスキャスケード
- ・榎原市 吉田宗義 ベゴニア

## 令和五年機構改革

当組合の機構改革を以下の通り施行しています。

令和5年10月12日改訂

令和5年10月16日施行

代表理事組合長	松田 登貴也
専務理事	吉川 隆憲
参事・会計主任	森田 宗克
第一営業課 課長	窪田 安良
〃	坂田 三和
〃	北田 洵平
〃	上田 卓
第二営業課 課長	東川 正彦
〃 参与	山田 勝彦
〃 参与	森川 勝彦
〃	上坂 修也
〃	中島 將福
第三営業課 課長	梅田 朝美 ※販売事務課と兼務
〃 課長補佐	田渕 州平 ※第二営業課と兼務
資材課 主任	中村 好孝
〃	澤田 涼矢
〃	山元 千佳子
総務課	箕輪 繁
〃	山本 佐智子
〃	森川 恵雄 ※第二営業課と兼務
〃	山田 めぐみ
販売事務課	前田 直子 ※第一営業課と兼務
〃	尾谷 友行
〃	吉村 美幸
〃	福田 あみ

※令和6年1月1日現在